

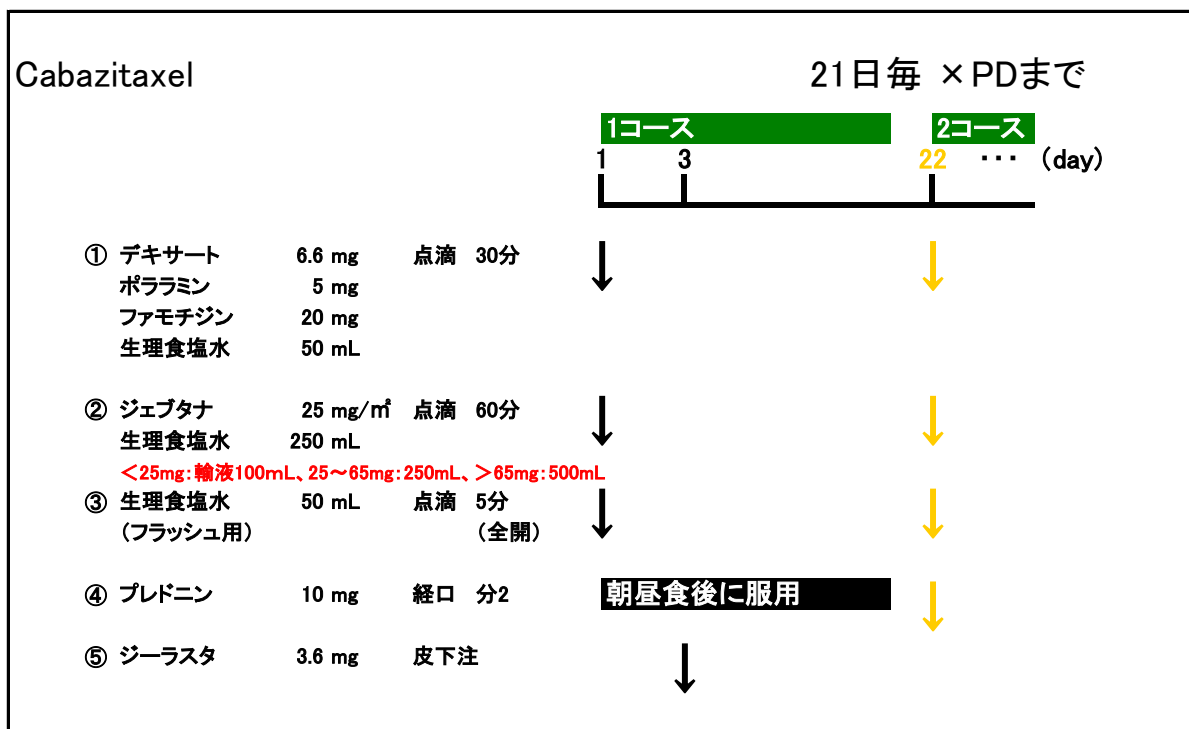
登録日 2015/5/26

登録番号 Pro008

腫瘍名 前立腺がん

申請診療科 泌尿器科

投与スケジュール



注意事項

- ・適応: ホルモン療法抵抗性前立腺癌、ドセタキセル投与歴のある症例に使用。
- ・ポリソルベート80含有製剤に過敏症ある患者は禁忌。アルコール過敏者には注意。
- ・予めジーラスタを予防投与する(骨髄抑制予防)
- ・副腎皮質ホルモン(プレドニン)を連日経口投与する。同等量のステロイド使用も可能(例: デカドロン)
- ・0.22 μmのインラインフィルターを使用すること。
- ・ポリ塩化ビニル製の輸液バッグ、ポリウレタン製の輸液セットは使用を避ける。
- ・調製上、端数は適宜規定の用量に変更する必要がある。
- ・調製上、用量に応じて、溶解液量を変更する必要がある。⇒変更必要時、薬剤部で変更可能。
(<25mg: 輸液100mL、25~65mg: 250mL、>65mg: 500mL)
- ・相互作用: CYP3A4で代謝される。アプレピタントの併用でカバジタキセルの暴露量に変化なし。
- ・血管外漏出リスク: 炎症性
- ・投与延期、減量基準
- 好中球減少: 適切な治療にも関わらずGrade3が1週間継続、発熱性好中球減少の発現時
⇒好中球が1500/mm³を超えるまで休薬。再開時: 20mg/m²に減量
- 下痢: Grade3以上の下痢、適切な治療にも関わらず持続する下痢 ⇒休薬。再開時: 30mg/m²に減量。
- 末梢性ニューロパチー: Grade3以上 ⇒休薬して、次回も投与中止。
Grade2 ⇒次回、20mg/m²に減量。

参考文献

- 1) Jahann Sebastian de Bono, et al, Prednisone plus cabazitaxel or mitoxantrone for metastatic castration-resistant prostate cancer progressing after docetaxel treatment: a randomised open-label trial, Lancet, 376, 1147-1154 (2010).
- 2) Giuseppe Di Lorenzo, et al, Peg-filgrastim and cabazitaxel in prostate cancer patients, Anti-Cancer Drugs, 24, 84-89 (2012).
- 3) ジェブタナ適正使用ガイド、サノフィ株式会社、2014年